



浪高だより

Aomori Pref. Namioka High School

第 4 号 7 月 18 日発行

〒038-1311 青森県青森市浪岡大字浪岡字稲村 101-2

TEL 0172-62-4051(代表) fax 0172-62-1556

http://www.namioka-h.asn.ed.jp/

2020

創立90周年

浪岡高校

第 101 回全国高校野球 『青森県大会』開催

西北・浪岡	0	0	0	0	0				0
青森明の星	1	4	0	3	2×				10

全国高等学校野球選手権青森大会が7月9日から開催され、総合開会式が青森市営球場で行われました。本校は今年度、西北・浪岡（浪岡6人・金木3人・鰐ヶ沢3人・深浦1人）チームとしての参加となりましたが、各校胸を張り堂々と入場行進をしていました。11日（木）に行われた大会では4校（200名）で応援し、最初どこちなかった生徒たちも応援団とともに盛り上がりを見せ、他校生徒や保護者、教職員が丸となって、選手たちに大きな声援を送っていました。

試合は、初回本校の乗田龍人（3年）が3塁打を放ち先制のチャンスをもたらしました。ホームランまであと一歩、という打球でチームを大いに盛り上げました。投げては先発の今（金木）に代わってマウンドに立った石塚颯弥（3年）が3回裏を0点に抑えるなどの活躍を見せましたが、力及ばず、初戦敗退となりました。

試合終了後、応援席に駆け寄り感謝の礼をした選手たちには、日頃の練習の成果を全て発揮したという達成感があり、今後の人生に生かされるものと感じました。この光景に応援席からも惜しめない拍手が送られていました。また、選手たちは春から連合チームとして練習試合を繰り返し行ったことで、コミュニケーションを取り守備でも連携プレーができるようになりました。今日の大会にすべての力を発揮することができ一番良い試合ができたと話していました。1～2年生部員もこの大会での感動を忘れずに、努力を積み重ね新たな感動を全校生徒にお願いします。



進路講演会『10代のうちに知っておきたい5つの心得!』・1～3学年 6月28日（金）



自分自身の進路を決める際に必要な情報を得る機会として、株式会社 Gentle から講師として、中村成博 氏を招き、「進路を決める上で大切なこと」を演題に講演をしていたきました。講演では進路を決める上で大切なことは、成績だけではありません！成績よりも大切なことがあります。「進路を決めるタイミング」人生で大切なことを知り、最良の選択をしましょうと語っていました。また、働くことは周りの人を喜ばせることであり、人の話を聞く姿勢で人生は変わる。真剣に聞くことが大事であることも話しており、普段から実践するようにお願いします。

『企業説明会 黒石・弘前・青森』・7月8日（月）・9日（火）・11日（木）

3学年就職希望者28名が、企業の概要や職務内容に関する情報を収集することにより、適切な職業選択をすることを目的に、青森・弘前・黒石公共職業安定所主催の企業説明会に参加しました。参加企業は、黒石（17社）・弘前（56社）・青森（60社）であり、生徒は希望する企業のブースに行き企業担当者から会社概要や職務内容について説明を受けていました。また、ミスマッチを防ぐ手段のひとつとして職業適性診断も実施されており、生徒は仕事をこなす能力や得意な業務分野などを参考に取組んでいました。全ての企業で丁寧に具体的に教えてくれたことに感謝し、今後の進路決定に役立てるようにしましょう。



1 学年「地域の歴史と祭りについて学ぶ～その4」・ 7 月 12 日（金）

1 学年 36 名が 4～5 人のグループに分かれ、ねぶた灯籠作りに取り組みました。講師に山谷寿華（黒昇會ねぶた絵師）を招きご指導を頂きました。講師からは下絵・蠟書・絵づけなどの作業手順の説明を受け、生徒は緊張した様子で、完成図をイメージしながら自分の役割を確認し、作製に入りました。3 時間後には、全体的な灯籠の形になり、各班とも色づけや体裁に工夫した特徴のある灯籠を完成させていました。各自の満足感や和やかな雰囲気での笑いを得た体験となりました。完成した灯籠は、8 月 17 日（土）18 日（日）の「北畠まつり」の運行に使用しますので、ご覧いただければ幸いです。



1 学年『先輩から後輩への夢相伝講座』……7月12日

1 学年を対象に、チャレンジ精神に富んだ時代の人材育成をめざした「生きること・働くことについて考えるキャリア教育」の一環として、郷土出身の先輩社会人の講話を聞き、自己の進路について考えることを目的に、「先輩から後輩への夢相伝講座」が行われました。全体会では、あなたに教えた「あおもりの魅力」として、通勤時間の短さ（全国 6 位）・子育てのしやすさ（全国 11 位：待機児童 0 人）・マイホームを持てる住宅地の安さ（全国 2 位）など、あおもりの「しごと」「暮らし」について知る機会にして欲しいと話していました。続いて 5 名の講師紹介後、興味のある分野で 2 名の講師を選び、前半と後半に分かれて話を聞き意見交換をしました。生徒は、職業を決めるためには何が好きで何が得意なのかを考え自分に合った職業を選択すること。また、将来の目標を持って、これからの学校生活に取り組むことが大切であるなど感想を述べていました。

『講師』

伊藤自動車硝子販売（株）代表取締役
（株）しんとう計測 代表取締役社長
青森市福祉部介護保険課

伊藤栄一郎 氏
小川乃理子 氏
杉山 明子 氏

青森県営農大青森 臼田 裕 氏
（有）クリエイティブ青森 菊池志佳子 氏



『東京同窓会支部総会』……6月30日（日）

浪岡高校出身で関東圏に住む卒業生で作る東京同窓会支部総会が東京都神田「跳人」で総会・懇親会が開催されました。本校からは、教頭・渉外部主任・進路指導部・昨年度の担任の 4 名が参加しました。来賓を含め約 30 名の参加者となり、小野幸春東京支部長の挨拶のあと、学校側から近況を報告し、思い出を語り合うなど懇親を深めました。3 月に卒業した 2 名の卒業生からは、都会生活に戸惑いもあるけど楽しく頑張っていることなどを笑顔で話していました。



『バドミントン部・日本音楽部 全国大会壮行式』

7 月 17 日（水）

「南部九州高校総体インターハイ 2019」に出場するバドミントン部および「第 43 回全国高等学校総合文化祭 2019 さが総文」に出場する日本音楽部の壮行式が行われました。バドミントン部の太平啓人部長と日本音楽部の横山萌部長から大会に向けての抱負後、日本音楽部による大会で演奏される曲目を本番の流れに沿って披露しました。体育館には素晴らしい音色が響き皆に感動を与えていました。その後、校長先生、木村新志生徒会長から激励の言葉があり、最後は応援団と全校生徒による応援が行われました。バドミントン部は熊本県八代市（八代市総合体育館）で、8 月 1 日～5 日の 5 日間の日程で行われ、春の全国選抜大会優勝に続きインターハイ初優勝を目指します。日本音楽部は佐賀県武雄市（武雄市文化会館）で、7 月 27 日～28 日の 2 日間の日程で、これまで取り組んできた練習の成果を発表し、全国から集まった観衆を魅了する演奏で文部科学大臣賞を狙います。皆さんの応援をよろしくお願いします。

JAPANESE MUSIC